

平成28年度版

病院年報

第41巻



越谷市立病院

— smile, safety, satisfaction —

平成28年度病院年報の発刊にあたって

院長 丸 木 親

残念ながら今年度も含め平成26年度より3年連続しての赤字となったことで来年度の高額医療機器購入予定が立てられない事態であり、経営は大変厳しい状況となっています。赤字の原因が職員の怠慢のためとは思っていませんが、当院のスタッフが医療環境の変化にまだ対応しきれていないことにも一因があるのではないのでしょうか。

以前は病院完結型で対応してきましたと思いますが、地域全体で役割分担を考えながら地域完結型の医療を目指さなければならない時代となりました。様々な症状の患者を受け入れていかなければならず、また紹介患者、救急患者をスムーズに受け入れ、後方の連携施設、医師に逆紹介してゆくというシステムの構築もさらに進めていかなければなりません。当院に来られる患者の診療のみを頑張っていればいい時代は終わり、より広く患者を受け入れて短期間で後方に回す、という回転のいい診療を最低限の病床数の中で行う努力が大切です。

また、外来の診療が手一杯で紹介患者を受け入れられない、救急患者が取れないのは連携がうまく行っていない、未だに個人プレーでグループ診療をうまく行っていないことも一因ではないのでしょうか。公立の病院に就職することの意義を今一度考え直していただきたいと思います。公立病院に就職する、いや今や医療従事者になるということは、医療費抑制策に国が舵を切っているのですから、自分の収入のアップは望むべくもないことです。

私はこの病院で働く醍醐味とは、自身のキャリアアップではないかと考えます。地域住民の方々に恥ずかしくない標準治療を提供し、充実した臨床教育、実習病院となり、この地区のハイボリュームセンターとなることが目指すところです。どうか各部署は積極的に学会等に参加し、発表などを通じて自分たちの普段のパフォーマンスがどのくらいのレベルなのかを確認してください。そして地域から紹介される信頼にたる病院であるべく、努力をしたいと思います。小児病棟の改築など、時代に即した使いやすい病床も整備しているところですが、〇〇専門病棟などというものはもうこの病院には存在せず、全て混合病棟であると思って各病棟は稼働率を上げてください。

2018年には介護診療報酬の同時改定と消費税のアップなどの問題が差し迫っています。どちらも病院にとっては収入増になる要素ではないと思います。職員一同危機感を持って臨んで下さい。

病 院 の 理 念

私たちは地域の健康を守るため最良の医療を志向し、愛され信頼される医療を行なうにあたり、次のことを実践します。

－ smile , safety , satisfaction －

- 私たちは病院の使命を自覚し、患者様のニーズに応える医療を提供します。
- 私たちは医療の向上に努め、生命の尊厳を重視し安全な医療を提供します。
- 私たちは患者様の視点に立ち、患者様が満足できる医療を提供します。

平成14年4月1日制定

基 本 方 針

- 1) 救急医療を充実させ、地域住民の求める医療に積極的に応えます。
- 2) 医療連携を積極的に推進し、地域に根ざした医療を展開します。
- 3) 安全な医療を旨とし、医療の質・患者サービスの向上を図ります。
- 4) 確かな技術、豊かな感性で高度な医療を展開します。
- 5) 職員は使命感と誇りを持ち、夢と感動ある医療を実践します。
- 6) 安定した経営基盤を確立し、限りある医療資源を有効に活用します。
- 7) 「患者の権利と責務」を遵守し、患者様との信頼関係に結ばれた医療の提供を目指します。

平成19年4月1日制定

目 次

第1章 概 要

(1) 病院の概要	1
(2) 病院の沿革	3
(3) 届出に関する事項	12
(4) 配置図等	14
(5) 病院機構図	16
(6) 施設の概要	18
(7) 主要医療機器等一覧	20

第2章 平成28年度業務

第1節 管理業務

(1) 職員に関すること	23
(2) 財務に関すること	25
(3) 業務の委託	33
(4) 光熱水費の状況	34

第2節 病院業務

(1) 患者数調べ	35
(2) 診療報酬に関すること	40
(3) 院内死亡数および解剖数	41
(4) 臨床検査科業務	42
(5) 薬剤科業務	45
(6) 栄養科業務	49
(7) 放射線科業務	51
(8) 内視鏡室業務	57
(9) 中央手術室業務	58
(10) リハビリテーション科業務	59
(11) 臨床工学科業務	62
(12) 人間ドック集計	63
(13) 看護部業務	65
(14) 緩和ケア業務	69

第3章 研究業務

(1) 学会等における研究発表及び講演	70
(2) 著書及び論文発表	76

(3) 研究発表

1) 内 科	血糖コントロール増悪から診断まで約2年を要した糖尿病合併自己免疫性膵炎	78
2) 消化器科	遺伝性出血性毛細血管拡張症の一例	86
3) 小 児 科	免疫グロブリン・プレドニン初期併用療法を行ったが巨大冠動脈瘤を合併した川崎病の1例	89
4) 整形外科	膝蓋腱・前十字靭帯同時損傷の1例 変形性膝関節症における歩行機能評価と患者立脚型評価、画像評価の相関 AC L 損傷後変形性膝関節症に対する open wedge H T O と A C L 再建の有用性について	92 94 96
5) 脳神経外科	Predicting the necessity of anterior communicating artery division in the bifrontal basal interhemispheric approach	99
6) 産科・婦人科	子宮平滑筋腫に子宮内膜間質結節を合併した一例 A case report of Endometrial Stromal Nodule	107
7) 放射線科	異なる機種メーカー間での A D C T の運用	110
8) 臨床検査科	子宮頸部腺扁平上皮癌の一例	112
9) 薬 剤 科	Influence of nonsteroidal anti-inflammatory drugs on aspirin's antiplatelet effects and suggestion of the most suitable time for administration of both agents without resulting in interaction	115
10) 7-1 病棟担当	2型糖尿病患者へのマニュアルを用いた指導による行動変化の検証 キーワード：2型糖尿病・指導マニュアル・日常生活行動	125
11) 8-1 病棟担当	ずれの少ない経口挿管チューブの固定方法の検討 キーワード：挿管チューブ・固定・ずれ・テープの剥がれ	127

(4) 平成28年度ガス・メス納め集会より

1) 麻 酔 科	麻酔科・中央手術室手術統計	132
2) 循 環 器 科	循環器科年次報告	134
3) 外 科	外科手術統計	136
4) 小 児 科	小児科入院統計	137
5) 整形外科	整形外科手術統計	138
6) 脳神経外科	脳神経外科手術統計	140
7) 皮 膚 科	皮膚科手術統計	141
8) 泌 尿 器 科	泌尿器科手術統計	142
9) 産科・婦人科	産科・婦人科手術・分娩統計	143
10) 眼 科	眼科手術統計	145
11) 臨床検査科・病理診断科	病理・細胞診・解剖統計	146